

快適をかたちに  
**KANESO**

おかげさまで100周年

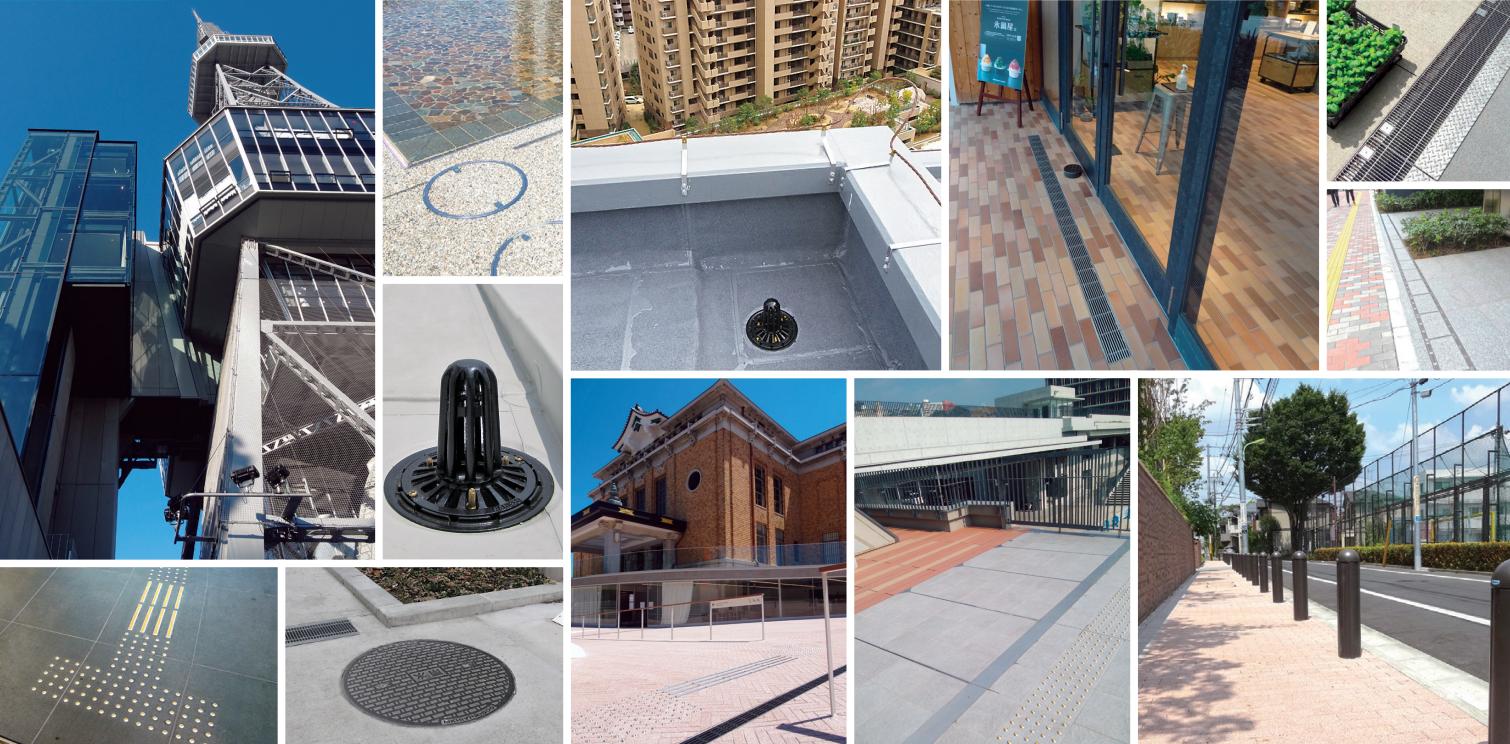


# 惣力ネロウ株式会社

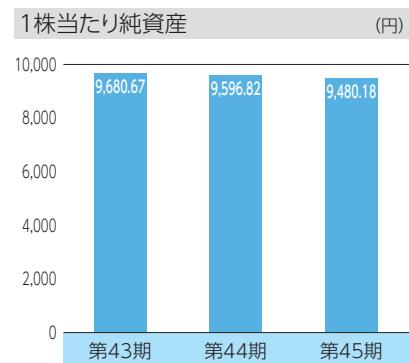
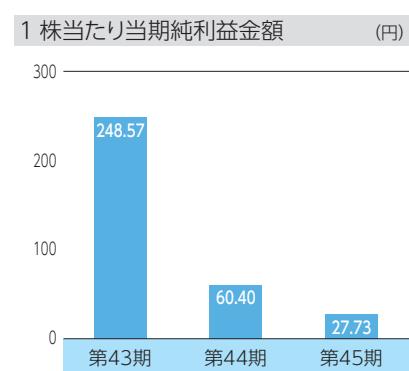
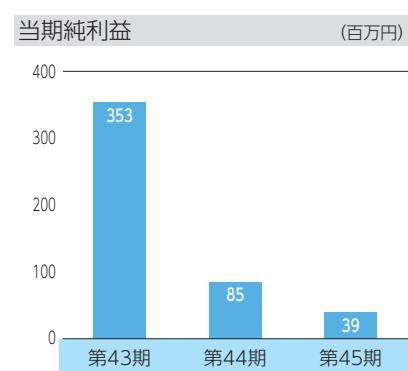
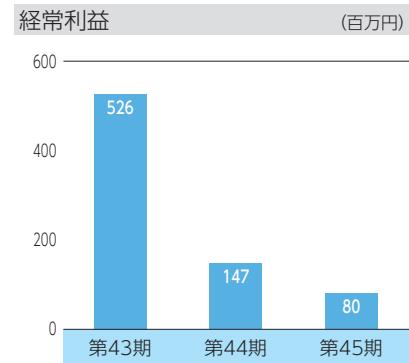
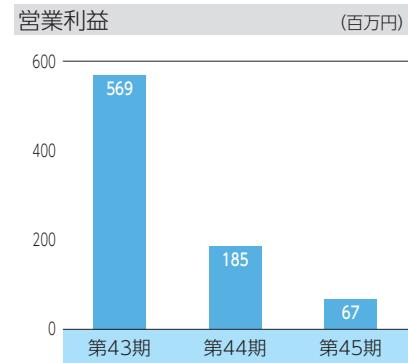
# 第45期 報告書

2021年4月1日▶2022年3月31日

証券コード●5979



# 財務ハイライト



# 株主の皆様へ



株主の皆様には、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
さて、当社第45期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の事業の概況等をご報告申し上げます。

2022年6月

代表取締役社長 豊田 悟志

## 事業の経過及び成果

当事業年度における国内経済は、緩やかながら持ち直しの動きが見られましたが、新型コロナウイルス感染症が繰り返し拡大し、生産活動など供給面での制約が起こるなど、依然として厳しい状況が続きました。また、資源、材料価格をはじめとする諸物価の高騰が続いていることや、ロシア・ウクライナ情勢のリスク顕在化により、経済、社会情勢の変動に大きな影響が及ぶこととなりました。当社の主要な市場であります建設関連業界におきましては、公共投資が弱い動きながらも底堅く推移し、民間設備投資は持ち直しの動きが見られるようになりましたが、資材価格の上昇や労働力不足など、取り巻く事業環境は厳しく、需要動向への影響が懸念される状況となりました。その結果、売上高は、68億17百万円(前年同期比4.9%増)となりました。製品分類別における状況は次のとおりであります。

鋳鉄器材は、外構、街路関連工事が堅調に推移し、外構・街路関連製品が増加し、建築工事着工件数が低位ながら、やや回復傾向となり、雨水排水・防水関連製品が増加したことから、17億73百万円(同2.2%増)となりました。

スチール機材は、外構関連等の改善により外構・街路関連製品が増加しましたが、民間設備投資の回復の遅れや、土木工事関連の納入が低位な状況が続きましたことが影響し、11億5百万円(同3.2%減)となりました。

製作金物は、外構、街路等景観整備工事が回復基調であったことから外構・街路関連製品が増加し、建築工事関連も改善し、建築金物が増加しました。また、防災関連製品の納入が工事の進捗により増加したこともあり、33億26百万円(同3.4%増)となりました。

その他鋳造製品は、公共投資が底堅く推移したことから、土木向け需要が増加したことと、建機、機械向け製品も納入先の堅調な需要を受け、改善基調が続きましたことから、6億11百万円(同51.7%増)となりました。

利益につきましては、感染症拡大が更に拡大する状況から制限も続き、年度後半からの需要環境の改善にやや陰りが見られるようになりました。生産につきましても回復傾向となったものの、材料価格の高騰や、諸物価等コストの上昇から、採算面での厳しい状況が続きました。また、販売市場における競争も厳しく、収益改善が進みにくい状況となりました。その結果、売上総利益は、21億9百万円(同4.7%減)となりました。販売費及び一般管理費につきましては固定費用等負担の増加はありますが、売上の増加にともない改善傾向となり、20億41百万円(同0.7%増)となりました。その結果、営業利益は67百万円(同63.5%減)となりました。営業外損益につきましては、低金利の環境が続く状況は変わらず、収益の低い状況が続きました。その結果、経常利益は80百万円(同45.7%減)となり、当期純利益は39百万円(同54.1%減)となりました。

## 快適な生活環境の創造に向けて

雨水排水・防水関連製品



ルーフドレン

建築金物



フロアーハッチ



外構・街路関連製品



U字溝用スリットみぞ蓋

外構・街路関連製品



ステンレス製グレーチング

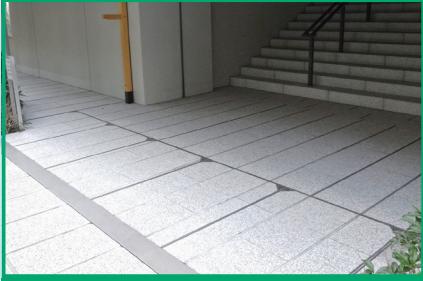
外構・街路関連製品



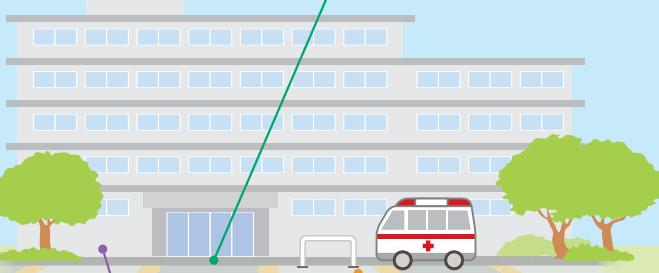
スチール製グレーチング

# カネソウは歩みつづけます。

## 防災関連製品



免震エキスパンションジョイント



## 建築金物



ピット金物

## 外構・街路関連製品



車止め

## 外構・街路関連製品



マンホール鉄蓋

## 鋳鉄器材

売上高 **1,773** 百万円

前年同期比 **2.2%** 増



- 主な製品
- ルーフドレン
- マンホール鉄蓋
- 車止め



ルーフドレン

## スチール機材

売上高 **1,105** 百万円

前年同期比 **3.2%** 減



- 主な製品
- スチール製グレーチング

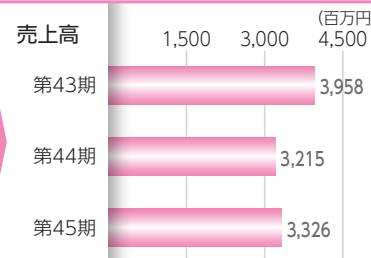


スチール製グレーチング

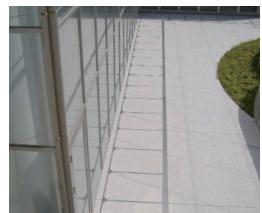
## 製作金物

売上高 **3,326** 百万円

前年同期比 **3.4%** 増



- 主な製品
- ステンレス製グレーチング
- ピット金物
- フロアーハッチ
- 免震エキスパンションジョイント
- U字溝用スリットみぞ蓋
- カラー舗装用みぞ蓋
- たてとい

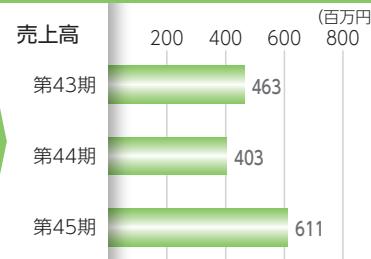


EXジョイント

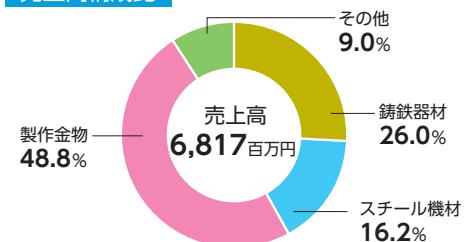
## その他

売上高 **611** 百万円

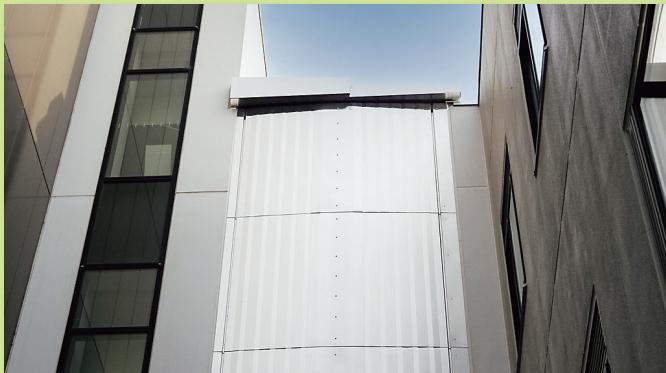
前年同期比 **51.7%** 増



### 売上高構成比



# 新製品のご紹介



## 免震－免震エキスパンションジョイント

免震建築物と免震建築物とを繋ぐ渡り廊下に使用する、免震－免震エキスパンションジョイントです。

振動台による性能確認試験を実施。免震エキスパンションジョイントがイドラインに基く目標性能「A種」に対応します。



## ラインピット MRI室・X線室 対応

MRI室対応の磁気の影響を受けないオールアルミニウム製のピット蓋や、蓋の裏面に鉛板を装着し床ピットからのX線の漏えいを防ぐX線室対応のピット蓋です。



## 車止め 建物ガード用 コンクリート充填タイプ

アクセル・ブレーキの踏み間違いなどで意図せぬ急発進をした車両による、人・店舗・建物への衝突被害を軽減させるための車止めです。

支柱内にコンクリートを充填施工することで、車両接触時に変形しにくい製品です。

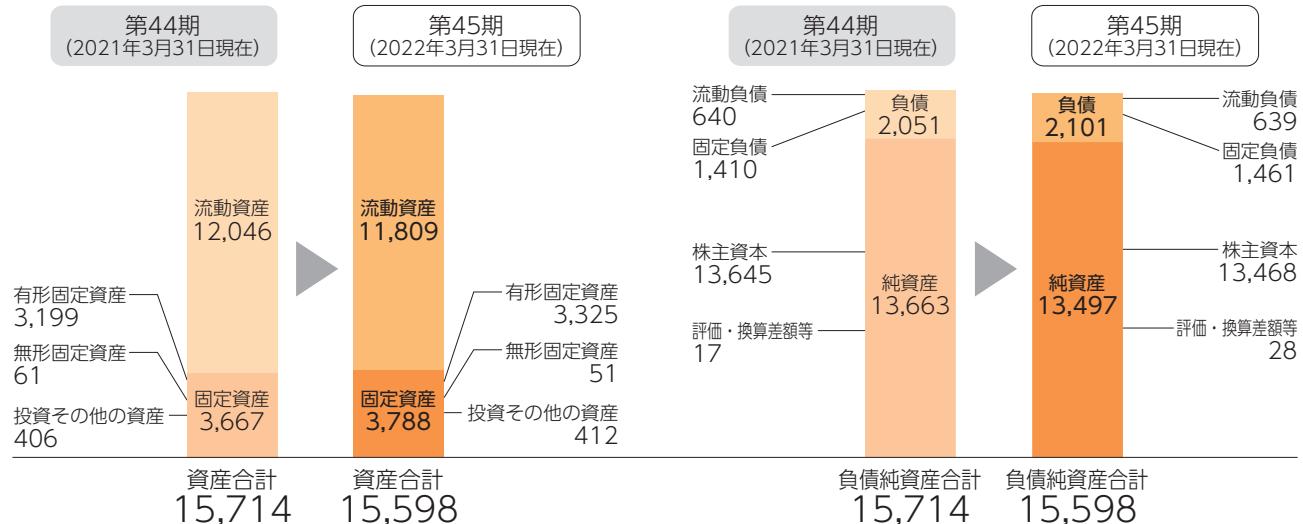


## カラー舗装用みぞ蓋 石貼用

周囲と同じ舗装材が充填できる、金属目地を見せない石貼用の化粧用みぞ蓋です。敷設時にみぞ蓋が目立たず、舗装空間の美観を保ちます。

## 貸借対照表の概要

(百万円)



### 財政状態について

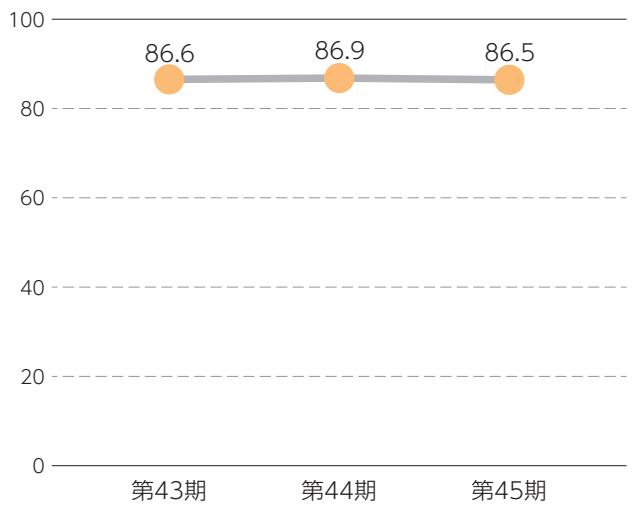
資産総額は155億98百万円となり、前事業年度末に比べ1億15百万円減少いたしました。これは主に、流動資産のうち、現金及び預金が5億75百万円、売掛金が1億7百万円増加しましたが、有価証券が9億円、製品が63百万円、固定資産のうち、機械及び装置が46百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債総額は21億1百万円となり、前事業年度末に比べ50百万円増加いたしました。これは主に、流動負債のうち、買掛金が28百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は134億97百万円となり、前事業年度末に比べ1億66百万円減少いたしました。これは利益剰余金について、当期純利益の計上が39百万円ありましたが、剰余金の配当が2億13百万円あったこと等によるものであります。

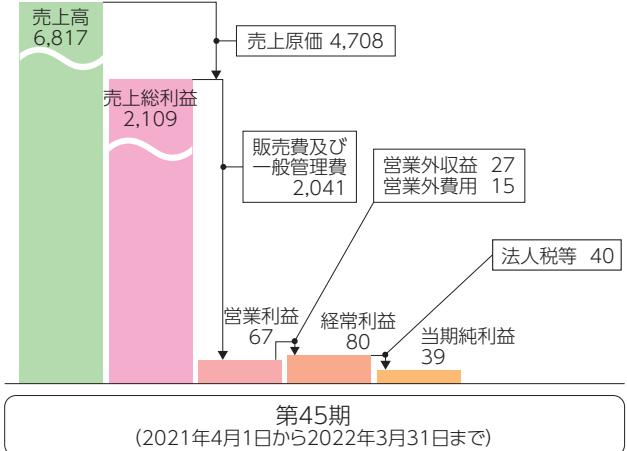
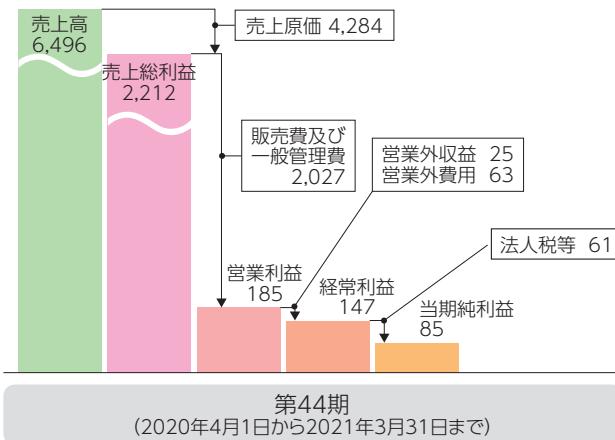
### 自己資本比率の推移

(%)



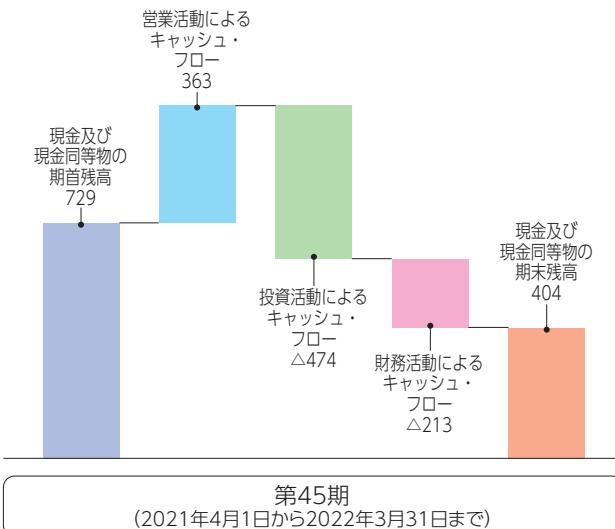
## 損益計算書の概要

(百万円)



## キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



### ■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、3億63百万円(前期比83百万円の収入減)となりました。

これは主に、棚卸資産の減少が32百万円、仕入債務の増加が28百万円、法人税等の支払額が42百万円ありましたが、税引前当期純利益の計上が80百万円、売上債権の増加が1億16百万円あったこと等によるものであります。

### ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は、4億74百万円(前期比2億80百万円の支出増)となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入が76億円ありましたが、定期預金の預入による支出が85億円、有形固定資産の取得による支出が4億59百万円あったこと等によるものであります。

### ■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果支出した資金は、2億13百万円(前期比0百万円の支出増)となりました。これは、配当金の支払が2億13百万円あったことによるものであります。

## 当社の概要

商 号	カネソウ株式会社 (KANESO Co.,LTD.)
本社所在地	三重県三重郡朝日町大字縄生81番地
電 話 番 号	(059) 377-4747 (代表)
設 立	昭和54年10月23日
資 本 金	1,820,000,000円
事業の内容	建設用金属製品の製造・販売
従 業 員 数	248名

## 役 員 (2022年6月24日現在)

取締役名 誉会長	小林 昭三
代表取締役会長	小林 正和
代表取締役社長	豊田 悟志
専務取締役	南川 智之
専務取締役	福田 昭人
常務取締役	松田 洋一
常務取締役	石川 文和
取締役	小林 永朋
取締役	近藤 健治
取締役(監査等委員)	山田 耕二
取締役(監査等委員)	木原 昌弥
取締役(監査等委員)	山田 康之

(注)取締役(監査等委員)木原昌弥及び山田康之の両氏は、社外取締役であります。

## 事業所



① 本社 朝日工場	〒510-8101 三重県三重郡朝日町大字縄生81番地
② 東京支店	〒105-0004 東京都港区新橋六丁目9番5号 JBビルディング3F
③ 大阪営業所	〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町1丁目3番10号 信濃橋富士ビル10F
④ 仙台営業所	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町一丁目1番8号 第3青葉ビル9F
⑤ 福岡営業所	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前四丁目8番15号 博多鳳城ビル6F

# 株式情報

## 株式の状況

発行可能株式総数	4,000,000株
発行済株式総数(自己株式を除く)	1,423,710株
株主数	562名
単元株式数	100株

## 大株主

株主名	持株数	持株比率
小林鋳造有限会社	375,000	26.33
小林正和	315,000	22.12
小林昭三	100,000	7.02
小林誠子	100,000	7.02
小林裕和	100,000	7.02
榎原靜枝	45,000	3.16
神谷布左子	45,000	3.16
石川商事株式会社	19,000	1.33
カネソウ従業員持株会	15,700	1.10
株式会社三菱UFJ銀行	15,600	1.09
株式会社百五銀行	15,600	1.09

(注) 上記のほか、当社保有の自己株式16,290株があります。

## 株式に関するお手続き

お手続き	お問い合わせ先	
	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
●株主名簿記載事項の変更 商号・氏名、住所、代理人選任、変更など	口座を開設した証券会社にお問い合わせください。	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話:0120-782-031(フリーダイヤル)
●単元未満株式の買取請求 その他お手続きに関する事項		
●未払配当金	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話:0120-782-031(フリーダイヤル)	

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 每年6月下旬

### 基準日

定時株主総会・期末配当 每年3月31日  
中間配当 每年9月30日

公告掲載新聞 日本経済新聞

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒460-8685  
名古屋市中区栄三丁目15番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

特別口座の  
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先  
(電話照会先) 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話:0120-782-031(フリーダイヤル)  
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の  
本店および全国各支店で行っております。

# 快適をかたちに **KANESO**

当社ホームページのご案内  
企業情報や製品情報を掲載しております。



<http://www.kaneso.co.jp>



環境に配慮し、植物油インキを使用しています。